

ノダイオウ

Rumex longifolius DC.

タデ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

現在、産地が限定され、個体数も少ない。全国的な分布域からも貴重である。(現況:RO)

形態

茎は壮大で分枝し、根出葉や茎の下部の葉は大きく、波状縁、有柄で、基部は円形である。上部の葉は小さく細くなり、披針形～長楕円形をなす。

国内分布

北海道、本州(中部以北および和歌山県など)に分布する。

県内分布

南加賀区、加賀中央区、中能登区などに分布する。

生態など

高さ1m以上になる雌雄同株の多年生草本である。開花期は6～8月。果時の翼状萼片は低鋸歯縁または全縁である。果柄に関節がある。

生育環境

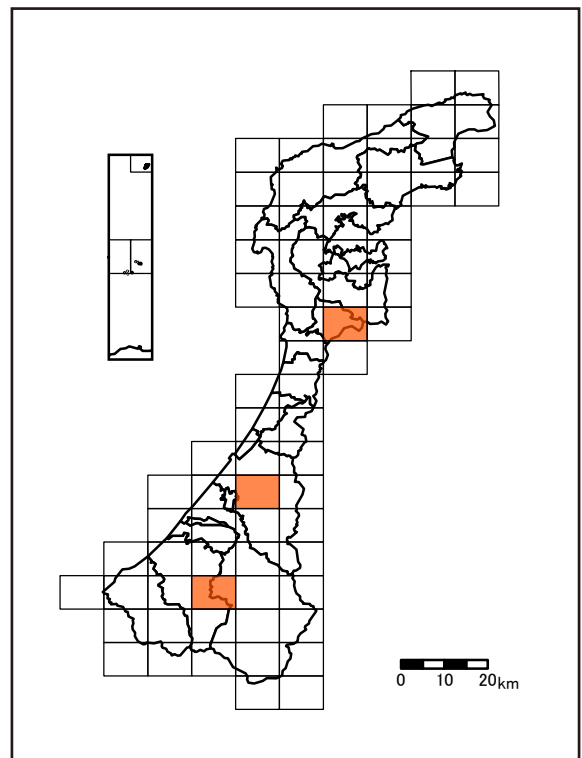
道ばた、畑地、休耕田などに生育する。

危険要因

道路工事、産地局限。



小野ふみゑ・2005年7月2日・小松市



県内の分布